

上越教育大学概要

昭和57年度



目 次

創設の趣旨・目的	2
沿 革	3
今後の計画等	4
組織図	5
役職員等	6
部及び構座	7
附属図書館	7
保健管理センター	8
実技教育研究指導センター	8
附属学校	8
教職員数	8
学生の定員及び現員	9
入学志願者数及び入学者数	9
県別入学状況	9
福利厚生施設	10
校地及び校舎	11
建物配置図	12
位置図	16



大学の建物及び上越市(直江津地区)

創設の趣旨・目的

上越教育大学は、新しい理念と構想のもとに、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進するための国立の大学である。

今日、教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた、広い一般的教養教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

本学は、このような要請に基づき、初等教育教員を養成する学部と、主として、初等・中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院をもつ大学として設置された。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたるすぐれた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

また、学部の教育は、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これにたずさわる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成を重視するとともに、教育課程の改善、教育実習の拡大をはかるなど、教育の内容と方法に新しい工夫を加えている。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の実践に係わる諸科学の研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしている。

沿 革

- 昭和51年 8月1日 文部省内に「教員大学院大学創設準備室」設置（室長 須田 八郎）
- 昭和53年 6月17日 第84国会で「国立学校設置法及び国立養護教諭養成所置法の一部を改正する法律」が成立し、
本学の新設公布
- 10月1日 上越教育大学が開学し、学長に辰野千壽就任 事務局を新潟大学教育学部高田分校内に設置
- 1月25日 第1回の学部推薦入学者選抜試験実施
- 3月4～6日 第1回の学部入学者選抜試験実施
- 3月16日 第1回の学部合格者発表
- 3月25日 学生宿舎の一部竣工（55年7月12日着工）
- 3月25日 人文系研究棟竣工（55年2月17日着工）
- 4月1日 「国立学校の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令」及び「国立学校設置法施行規則
の一部を改正する省令」に伴い、附属実技教育研究指導センター、附属小学校、附属中学校の
設置（附属学校は新潟大学教育学部附属高田小、中学校の移管）
- 4月16日 第1回学部入学式挙行
- 4月20日 新潟大学教育学部高田分校の校舎等の一部を使用し、授業開始
- 5月25日 共通講義棟竣工（55年9月14日着工）
- 5月25日 学生実験棟、学生会館、設備機械室竣工（55年9月1日着工）
- 6月8日 山屋敷地区の第一期工事の校舎等の完成に伴い、事務局、研究室、学生宿舎等の移転
- 8月10日 音楽棟竣工（55年10月1日着工）
- 12月2日 学生宿舎の一部竣工（56年3月18日着工）
学生宿舎（第二期）竣工（57年3月31日着工）
- 昭和57年 1月10日 第2回の学部推薦入学者選抜試験実施
- 1月20日 美術棟、体育棟、体育館、小体育館竣工（56年4月1日着工）
- 3月4日～6日 第2回の学部入学者選抜試験実施
- 3月16日 第2回の学部合格者発表
- 3月31日 職員研修センター竣工（56年10月19日着工）
- 4月15日 第2回学部入学式挙行

今後の計画等

本学は、国立学校設置法案の一部を改正する法律（昭和53年法律第74号）により、昭和53年10月1日に設置され、学校教育学部については、昭和56年4月から学生を受け入れている。

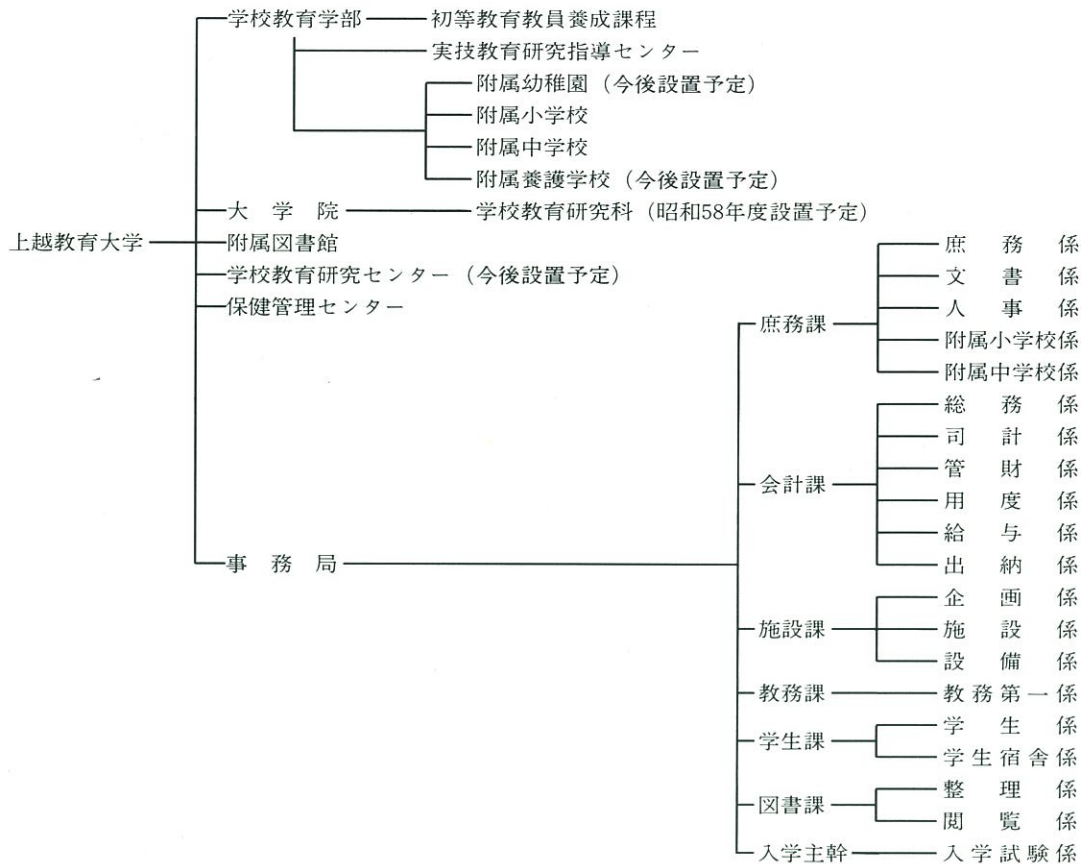
大学院学校教育研究科については昭和58年4月から、学生を受入れる予定である。

大学院の課程・専攻・コースの設置、学生受入れ等の予定は次の表のとおりである。

() は入学定員を示す。

区 分		昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	
大 学 院 (学 校) 教 育 研 究 科	学 校 教 育 専 攻	教 育 基 礎 コ ー ス	(約15)	→	
		教 育 経 営 コ ー ス	(約15)	→	
		教 育 方 法 コ ー ス	(約10)	→	
		生 徒 指 導 コ ー ス	(約10)	→	
	幼 児 教 育 専 攻		(15)	→	
	障 害 児 教 育 専 攻		(25)	→	
	教 科 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 コ ー ス		(約40)	→
		社 会 系 コ ー ス		(約30)	→
		自 然 系 コ ー ス		(約50)	→
		芸 術 系 コ ー ス	(約50)		→
生 活 ・ 健 康 系 コ ー ス		(約40)		→	

組 織 図



役職員等

学	長	辰野千壽
副学	長	須田八郎
副学	長	松田岩男
評議員		
学	長	辰野千壽
副学	長	須田八郎
副学	長	松田岩男
附属図書館	長	菅野三郎
第1部		前田幹
第2部		佐藤親雄
第3部		川本崇雄
第4部		小松件進
第5部		堀一男
第6部		小池藤雄
第7部		上野和年
附属実技教育 研究指導センター	長	供田武嘉津
附属学校		吉本市

部局長等

附属図書館	長	菅野三郎
保健管理センター 所長事務取扱		松田岩男
附属実技教育研究 指導センター	長	供田武嘉津
附属小学校	長	小池藤雄
副校	長	下村省一
附属中学校	長	吉本一市
副校	長	浅井一真
事務局		
事務局	長	田中亀夫
庶務課	長	矢部忠幸
会計課	長	村田宏
施設課	長	上村保人
教務課	長	沓掛良將
学生課	長	岩元忠幸
図書課	長	大浪由紀夫
入学主幹		木宮晋

部及び講座

部 名	講 座 名 等
学 校 教 育 研 究 部 (第1部)	教育基礎、教育経営、教育方法、生徒指導
幼 児 ・ 障 害 児 教 育 研 究 部 (第2部)	幼児教育
言 語 系 教 育 研 究 部 (第3部)	言語系教育、実技教育研究指導センターの外国語教育の分野
社 会 系 教 育 研 究 部 (第4部)	社会系教育
自 然 系 教 育 研 究 部 (第5部)	自然系教育
芸 術 系 教 育 研 究 部 (第6部)	芸術系教育、実技教育研究指導センターの音楽教育及び美術教育の分野
生 活 ・ 健 康 系 教 育 研 究 部 (第7部)	生活・健康系教育、保健管理センター、実技教育研究指導センターの体育教育の分野

附属図書館

蔵書数

(昭和57年3月31日現在)

区 分	一 般 教 育 等 (洋・和)						専 門 教 育 (洋・和)		合 計	学 種 類 数 術 雑 誌 数
	人 文	社 会	自 然	外 国 語	保 健 ・ 体 育	小 計	初 等 教 育 教 員 養 成 課 程			
蔵書	4,415	2,790	1,425	1,163	702	10,495	8,270	18,765	275	

なお、附属図書館の建物は、昭和57年度に完成の予定であり、当分の間、人文棟の講義室を暫定使用している。

保健管理センター

学生及び教職員の心身の健康の保持・増進を図るため、保健管理センターを設置している。
この保健管理センターでは、毎年定期健康診断を実施するほか、専門の教職員が学生及び教職員の心身の健康状況を客観的に把握し、指導と助言を行うことにしている。

実技教育研究指導センター

大学学部における教育や研究と密接な関連を保ち主として学生の自学自習により、教育に関する実際的、技術的能力、実技指導能力などの涵養を図るため、学部附属した実技教育研究指導センターを設置している。

附属学校

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属小学校及び附属中学校（昭和56年4月新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）を設置している。

また、将来は、幼稚園、養護学校を設置する予定である。なお、特に、学部学生については、教育実習を重視するため、上越地区の義務教育諸学校等にも、本学の実習協力校として協力を依頼し、学生の教育実習を行うことにしている。

教職員数

(昭和57年5月1日現在)

区 分	学長	副学長	教授	助教授	教頭	教諭	養 護 教 諭	計	事務官	技官	その 他 の 職 員	計	合計
定 員	1	2	31	20	2	30	2	88	26	6	40	72	160
学 長	1							1					1
副 学 長		2						2					2
学校教育学部			26	20				46					46
附属図書館													
保健管理センター													
実技教育研究指導センター			3					3					3
附属小学校					1	15	1	17					17
附属中学校					1	15	1	17					17
事務局									26	6	39	71	71
現 員 計	1	2	29	20	2	30	2	86	26	6	39	71	157

学生の定員及び現員

(昭和57年5月1日現在)

学 部	課 程	入学定員	総 定 員 (完成時)	現 員								計		合計
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		男	女	
				男	女	男	女	男	女	男	女			
学校教育学部	初等教育教員養成課程	200	800	76	124	83	124					159	248	407

入学志願者教及び入学者教

年 度	入 学 定 員	入学志願者数			入 学 者 数		
		男	女	計	男	女	計
昭和56年度	200	813	602	1,415	83	125	208
昭和57年度	200	579	558	1,137	76	124	200

県別入学状況

年 度 別 \ 県 名	新潟	長野	富山	石川	山形	秋田	群馬	静岡	その他	合 計
昭和56年度	(37) 63	(17) 31	(12) 13	(10) 14	(7) 10	(7) 7	(6) 8	(1) 4	(28) 58	(125) 208
昭和57年度	(31) 44	(19) 29	(14) 16	(7) 13	(9) 13	(6) 7	(3) 4	(4) 6	(31) 68	(124) 200
計	(68) 107	(36) 60	(26) 29	(17) 27	(16) 23	(13) 14	(9) 12	(5) 10	(59) 126	(249) 408

() は、女子で内数

福利厚生施設

1 大学会館

室名	階別	用途等
学生食堂	1	食事 (300席)
売店	1	書籍・日用品の購買等
特別食堂	2	食事 (27席)
喫茶店	2	喫茶
理髪・美容室	2	理髪・美容
集会室 (3室)	2	会議・研究会等
和室 (2室)	2	会議、邦楽、茶道、華道等の練習 (12帖・6帖)

2 学生宿舎

区分	建物	延面積	収容人員
男子用学生宿舎	R C 5		140人
女子用学生宿舎	R C 5		220人
計		6,982	360人



雨池から望む学生宿舎



大学会館の食堂で食事する学生



大学会館の売店で日用品等を購入する学生

校地及び校舎

1 校地

昭和57年5月1日

区 分	面 積
山屋敷地区（大学） 上越市山屋敷町1番地	356,199 [㎡]
西城地区（附属小学校） 上越市西城町1丁目7番1号	37,406
本城地区（附属中学校） 上越市本城町6番2号	75,991
その他宿舍用地	7,340
計	476,936

2 校舎

名 称	構 造	階数	延面積	建設年次
人文系研究棟	SRC	8	9,169 [㎡]	54～55
共通構義棟	RC	3	2,386	55～56
学生実験棟	RC	2	1,282	55～56
音楽棟	RC	5	2,636	55～56
美術棟	RC	4	3,921	56
体育棟	RC	4	1,710	56
自然系研究棟	SRC	7	6,347	56～57
体育館	R	1	1,409	56
小体育館	SRC	2	1,180	56
図書館	RC	3	3,080	57
大学会館	RC	2	2,133	55～56
設備機械棟	RC	2	688	55～56
学生宿舍	RC	5	3,723	55
			3,259	56
			4,840	57
職員研修センター	R	1	400	56



LL教室



調理学実習室


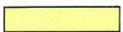


特別講義室

建物配置図

山屋敷地区建物配置図



凡	例
	既設建物
	工事中建物
	計画建物等

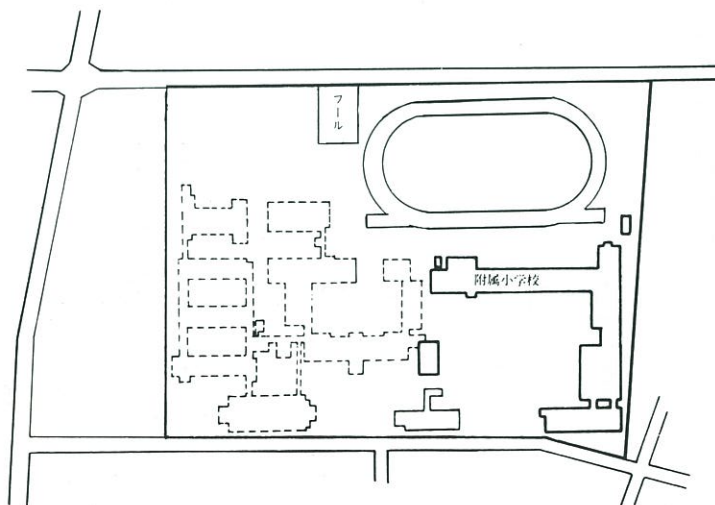
所在地
〒943上越市山屋敷町1番地
電話 0255-22-2411



共通講義棟及び人文棟

西城地区建物配置図

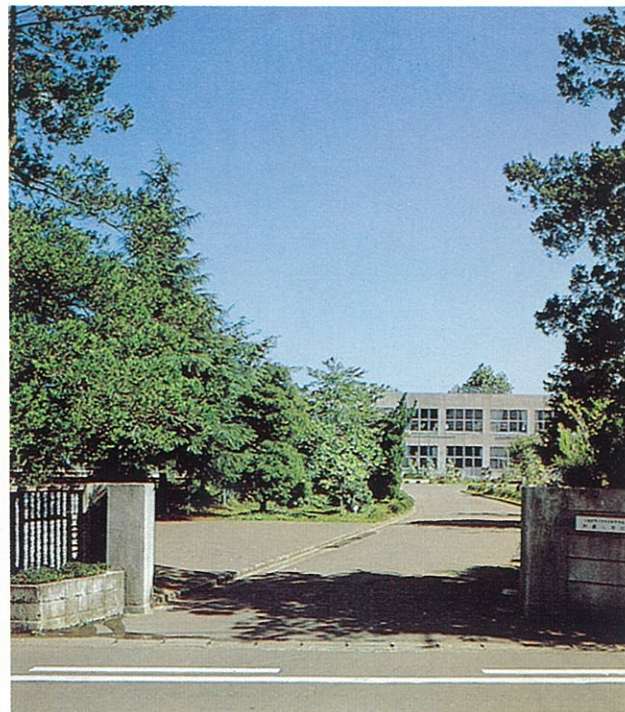
(附属小学校)



所在地

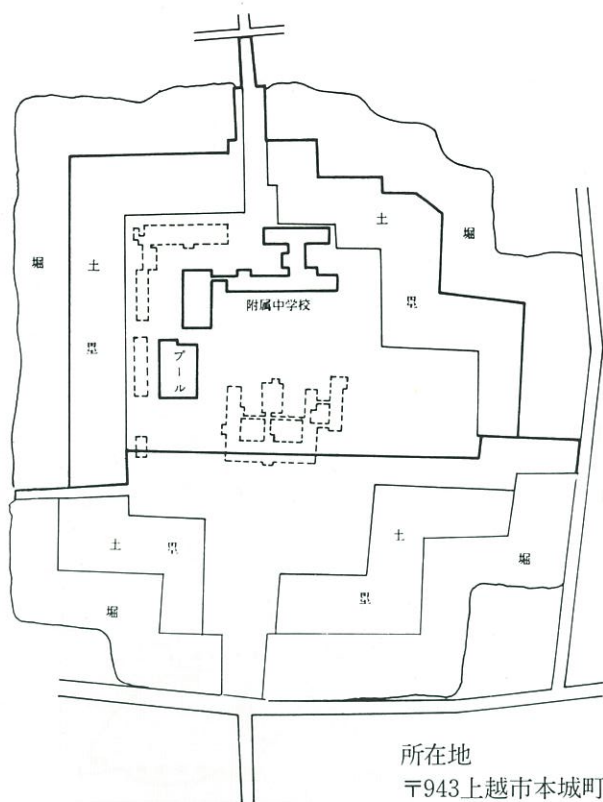
〒943上越市西城町1丁目7番1号

電話 0255-23-3610



本城地区建物配置図

(附属中学校)



所在地
〒943上越市本城町 6 番 2 号
電話 0255—23—5313

昭和57年 6 月発行

編集発行 **上越教育大学**庶務課

上越市山屋敷町 1 番地

電話 0255-22-2411



上越教育大学校章

JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION
